

人 事 往 来



揮毫 伊藤茂男氏

鎌田地区
平成29年5月1日現在
世帯数 8,824 戸
男 9,903 人
女 9,488 人
発行所 鎌田地区公民館 公民館報編集委員会

ふるさととは近くに ありて創るもの

くによりて創るもの」と言い替えています。



●新任あいさつ●
鎌田地区公民館館長 田中健太郎

4月から前任の仲館長の後を継いで鎌田地区公民館長として勤務しています。

地域主義を提唱した玉野井芳郎氏は、いま暮らしている地域に誇りと愛着を抱く生活者の自発的な社会参加の姿勢を、「ふるさととは近

向こう三軒両隣



●新任あいさつ●
鎌田地区町会連合会会長 村松昭雄

この度、平成29年度鎌田地区町会連合会長の任を担うことになりました。

鎌田地区は松本駅から近く利便性も良く、今後益々世帯数、人口が増が推測される地域で現在約8800世帯、約190000人が暮らす、松本で一番大きな地域です。「地域住民が安心と安全に暮

らせる鎌田地区・向こう三軒両隣の繋がり顔の見える街づくり」をテーマとして、昨年に引き続き福祉ひろばの増床、地域包括ケア会議の開催(一人も孤死を出さない)等を重点課題とし、第三期松本市地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき、地域福祉の見直しにも取り組みます。

他にも多くの課題があります。特色のある鎌田地区を目指して活動したいと思えます。地域の皆様のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

●新任あいさつ●



鎌田地区社会福祉協議会会長 草間晴雄

平成29年度鎌田地区社会福祉協議会(以下社協)の会長に就任することになりました。これまで鎌田地区社協の会計や福祉コーディネーターとして裏方の仕事をやってきましたが、まさか会長を自分がやるとは、

夢にも思っておらず、驚きと共に身の引き締まる思いです。鎌田地区社協の行う事業は、町会連合会、鎌田地区公民館、民生児童委員他17町会の皆様のご協力が無ければ何一つできません。微力ではありますが一生懸命務める所存ですのでご協力をよろしくお願い申し上げます。

●新任あいさつ●



民生・児童委員協議会会長 百瀬 峯男

平成28年12月1日から鎌田地区民生児童協会の務めさせていただきましたことになりました。17町会の民生児童委員30名の皆さんと共に住民の立場に立ち、一人ひとりの想いを大切に、その人

らしい生活が送れるよう、その人に寄り添った相談、支援など、地域の応援団として頑張っていく思いです。また、委員の皆さんとコミユニケーションをとりながら地区民生協の会を盛り上げ、地域福祉に力を注ぐ所存です。皆様方のご協力を心よりお願い申し上げます。

●新任あいさつ●



ボランティア部会長 横山 朋美

この度、ボランティア部会長を務めることになりました。前会長をはじめとする皆様の協力をいただきながらスタートしました。

が活発に行われており、とても多くの方がひろばへ足を運び、生き生きと楽しく参加されていると感じました。こうした地域の皆様と福祉ひろばの活動のお役に立てるよう、楽しく和をもつて尽力して参りたいと思えます。

ご支援とご協力をお願いします。 申し上げます。

皆様へ感謝



●退任●
鎌田地区町会連合会前会長 松本 捷幸

平成27・28年の2年間連合会長の任を担い、地区公民館、町会長、福祉ひろば、各種団体の皆様に支えられ活動できましたこと、心より感謝いたします。第二福祉ひろば建設は断腸の思いで中止を決断し、先人の苦勞を思い辛い日々でした。先般、市長との懇談会で増床を検討するとの回答を得られ安心しました。これからも地域づくりセンターと共に地区全体の防災訓練等を通じ、住民の絆がさらに強くなるよう願っています。関係者の皆様、ありがとうございました。

新 任 職 員 紹 介

よろしくお願いたします



左 石井由美 (公民館) 右 石原晴子 (福祉ひろば)

地域において増大し、複雑化する地域課題を、住民が主体となって解決していく仕組みを確かなものにするため、住民主体の地域づくりとそれを支援する行政システムの構築等を目指し、平成24年3月に「松本市地域づくり実行計画」を策定し、平成26年度には市内35地区に地域づくりセンターが整備され、地区ごとの地域づくりへの取り組みが始まりました。

鎌田地区では、町会連合会が主体となり、関係団体と連携を図る中で、地域の課題等を検討し、地域ケアシステムの構築、防災体制の強化を最優先課題と位置づけ取り組んでいます。

地域ケアシステムでは、町会役員、地区内の医療・福祉関係者等を中心とした意見集約を進めており、その中から、すでに近隣住民、医療機関、介護保険事業所が一人暮らしの高齢者を連携して支援する個別ケアの対応にも取り組み始めています。

今後は、より多くの方々の意見をお聞きする中で、地域の課題とその対応策の検討を

鎌田らしさを求めて!!

鎌田地区地域づくりセンター長

伊藤 和宏

進め、地域で安心して暮らせるシステム作りを進めていきます。

防災体制の強化では、昨年度は、市の総合防災訓練を鎌田地区で実施し、また町会長・町内公民館長合同で大規模災害における地域活動のあり方を学ぶため東日本大震災の被災地福島県を訪れ、この6年間現地で活動されている方々との意見交換などにも取り組みました。その中で、顔の見える関係づくり、「地域」の重要性を再認識しました。

災害発生時の避難所生活では、窮屈で先の見えない生活が続きます。少しでも不安が解消できる避難所生活が送れるように鎌田地区住民の指定避難所5カ所では、避難所運営委員会の組織化に向け隣接地区との連携が始まっています。

鎌田地区には、19000人の方が住んでいます。生活スタイルは人それぞれであり、地域に望むことも千差万別です。また時代が変われば、人の考えも変わります。その中から、より多くの住民が共感できる「鎌田らしさ」を常に求めて、皆さんと一丸となって地域づくりに取り組んでいきます。

子ども会育成会行事

四賀で化石発掘!

3月22日(日)鎌田小学校、開明小学校両校の高学年を対象に四賀化石館見学と化石発掘体験を行った。四賀化石館では、全世界で2頭しか見つからないシガマッコウクジラの全身骨格などを見学した。その後、保福寺川河川敷でニシンの鱗などの化石発掘を行った。両校の交流と共に化石を通じて地球環境を学ぶ良い機会となった。



白熱! ドッジボール大会

3月28日(日)西部体育館で小学生全学年を対象としたドッジボール大会が行われた。参加者約120名が8チームに分かれ、楽しく競い合った。



楽しい! キッズクッキング

料理を通して食に興味をもってもらうために、鎌田地区の小学生を対象に「キッズクッキング」が3月21日に鎌田地区公民館で開催された。講師として芳川地区地域づくりインターンの伊藤さんと松本大学の健康栄養学科の学生さんが来て、男女20名の子どもたちとちぎりパン作りに挑戦した。

袋に材料を入れて混ぜたりこねたりしながら、時折、自分の耳たぶを触り「このぐらいの固さでいいのかな」と友達同士で相談し合いながら楽しそうにパン生地作りをしていた。生地が完成すると、「あんこ」や「ねぎ味噌烏そばろ」を詰めて牛乳パックで作った型に入れた。最後にゴマや食紅で色づけをした生地を使って、アンパンマンの顔を作ったり、ハートの飾りをのせたりしてオリジナルのちぎりパンが完成した。

焼きたてのパンは熱々で、おいしそうに頬張っている姿が印象的だった。とても簡単にできるレシピなので、ぜひ家でも作ってみてはいかがですか。



ちぎりパン

材料 (1人分)

強力粉	100g
ベーキングパウダー	小さじ1(4g)
塩	ひとつまみ
砂糖	大さじ2
サラダ油	大さじ1
お湯	50ml
具 材	
甘い具	あんこ
しょっぱい具	鶏ひき肉の味噌そばろ

作り方

- ①オーブンを200度に温めておく
- ②ポリ袋に材料(a→b)を入れ、よく混ぜる。
- ③生地が耳たぶぐらいの固さになったら、生地を4等分して、具を入れて包む。
- ④型に詰めたら180度のオーブンで20分程焼く。